



日本共産党都議会議員団ニュース

# 河野ゆりえ

都議会報告

事務所 〒132-0023 江戸川区西一之江4-16-15

☎03-3674-2243 Fax03-3655-0689

都政へのご意見・ご要望をお寄せ下さい。

発行 日本共産党  
東京都議会議員団  
☎ 03-5320-7270  
Fax 03-5388-1790  
[党都議団控室]  
新宿区西新宿2-8-1  
2014年9月 第5号

## 伊豆大島の宿泊費補助が実現

日本共産党都議団の河野ゆりえ都議が  
代表質問で要求(2013・12・5)

東京都は昨年10月の災害からの本格的な復興に向け、伊豆大島を訪れる旅行者の宿泊費補助を開始しました。

伊豆大島の宿泊費補助については、日本共産党都議団の河野ゆりえ都議が昨年12月5日の都議会本会議での代表質問で、次のように要求していました。

「大島への観光客に対し、かつて三宅島の噴火や神津・新島地震被害に伴い実施したように宿泊助成などを行うことを求めます。お答えください」。これに対して東京都は、「大島の観光振興についてありますが、都は、宿泊助成について実施する予定はございませんが、大島に多くの旅行者が訪れるよう、年内を目途に、観光キャンペーンの展開を取りまとめることとしております」と答えていました

が、今年の7月8日、都の産業労働局が伊豆大島の宿泊費補助の実施を発表しました。その主な内容は、以下のとおりです。

▼伊豆大島での宿泊を伴う旅行で、ホテル・旅館・民宿等の宿泊施設における宿泊費用の一部を補助する。  
▼補助額は一人一泊3千円(二回の旅行につき2泊まで補助)。

▼対象者は、伊豆大島で宿泊する旅行者(伊豆大島住者は含まない)。  
▼要件は、現地の宿泊施設で支払い決済をおこなう場合を対象とし、インターネット決済やパッケージツアーは対象外。大島観光協会が発行する「宿泊割引券」が必要。

▼補助期間は、2014年7月19日～20



伊豆大島の被害状況を調査する河野ゆりえ都議  
(写真左 2013.12.1)

15年3月30日までの宿泊。  
▼手続きの仕方：①東京の観光ウェブサイトに「GO TOKYO」の特設ページ「伊豆大島へ遊びに行こう」から「宿泊割引券利用申請書」をダウンロードし記入する。②大島に着いたら大島観光協会に「宿泊割引券利用申請書」を直接提出し(運転免許証や保険証などを提示)、観光協会発行の「宿泊割引券」をもらう。③宿泊施設で宿泊費支払いの際「宿泊割引券」を提出し、差額を支払う。  
▼宿泊費補助が利用できる宿泊施設は、ウェブサイト「GO TOKYO」で案内。  
▼問い合わせ先 東京都産業

河野ゆりえ都議  
の都議会での  
質問日誌

2013年6月の都議会議員選挙で、3選目を果たした河野ゆりえ都議は、以降の都議会でも毎回のよう質問に立ち、都民要求の実現を東京都に迫ってきました。  
今まで紹介したものもありますが、改めて時系列の順で、河野ゆりえ都議の質問の内容を簡単に紹介します。

▼2013年9月27日  
環境・建設委員会での質問

水辺環境や緑の保全、すぐれた景観地区の維持、文化財保護のための風致地区の保存を求めました(「河野ゆりえ都議会報告」2013年12月号参照)。

(裏面へ続きます)

労働局観光部振興課

TEL 03-5320-4767



# 河野ゆりえ都議 の都議会での 質問日誌

▼2013年10月9日  
都知事宛に「江戸川区内の  
スーパー堤防建設問題につ  
いて」文書質問を提出

この文書質問でスーパー堤  
防計画の問題点、関係住民と  
の合意が得られていない問題、  
東京都にも大きな財政支出が  
伴う問題点などを指摘し、スー  
パー堤防事業計画の撤回、内  
水氾濫への都の対策の強化を  
求めました。「河野ゆりえ都議  
会報告」2013年11月号」  
参照。



北小岩1丁目のスーパー堤防事業で、建物解体の強制執行に抗議する河野ゆりえ都議  
(写真一番左 2014.7.3)

▼2013年11月12日  
環境・建設委員会での質問

①放射能汚染問題について  
江戸川区の篠崎公園の放射  
線量が毎時0.8マイクロシー  
ベルトなど、葛飾区の水元公  
園を含めて、江戸川、葛飾、  
足立の東部地域は高い数値を  
示している。都内でいくつも  
の自治体が独自の指標値を設  
定し、清掃、除草、除染、砂  
場の砂の入れかえをおこなっ  
ているように、東京都も同じ  
努力が必要ではないかと求め  
ました。

②再生エネルギーの開発と  
普及について

東京都の2020年まで再  
生エネルギーの割合を2  
0%にするという目標は、  
現在3.1%で遅れてお  
り、再生エネルギーの比  
率を高めるには、福島県  
楢葉町で試みが始まった  
浮体式の洋上風力発電の  
開発、学校施設での小型  
風力発電の設置など風力  
発電の開発と普及に努め  
ること。

太陽光発電の普及では  
屋根のソーラー取り付け

が重要。東京都環境公社のソー  
ラー取り付け店の選定に透明  
性がないという問題があると、  
事業者からの実際の声を紹介  
しながら、その改善を求めま  
した。

③大気汚染、PM2.5の  
問題について

PM2.5は一定量以上を  
吸引すると、気管支から肺の  
奥に入って付着し、ぜんそく、  
気管支炎、肺がんなどの呼吸  
器系疾患の原因になる。都内  
の測定局をもっと広範囲に増  
やす必要がある。特に自動車  
排出力測定局は数値が高く、  
もっとその測定局を増やす必  
要があると求めました。

また国に、ボイラーなどの  
固定発生源対策、自動車メー  
カーにPM2.5発生抑制装  
置の義務付け、自動車の走行  
量そのものを減らす対策をす  
めるべきだと質問しました。

▼2013年11月14日  
環境・建設委員会での質問

①江戸川区内でも特定整備路  
線として問題になっている補  
助142号線(千葉街道、補

助143号線柴又街  
道、補助144号線  
(平井2丁目)の道路  
整備と拡幅問題につ  
いて、東京都の説明  
会が始まったが、突  
然の話で移転先がす  
ぐ見つかからない。長  
年住み慣れた土地を  
いまさら出て行けと  
いわれても、高齢で  
対応できないなど、  
住民の不安や不信が  
広がっている。説明  
会は丁寧について住民の要望  
をよく聞き、地域の目線で計  
画をつくるべきだと求めまし  
た。



河野ゆりえ事務所主催の葛西臨海公園のカヌー・スラローム建設予定地見学会(2013.11.5)

②港区三田2丁目の古川、一  
之橋上流の護岸強化工事中の  
箇所50メートルにわたる  
護岸崩落事故が起きたことを  
取り上げ、まちの安全のため  
のインフラ維持管理に予算の  
重点を移すべきだと求めまし  
た。

③江戸川区の葛西臨海公園は  
開園して25年。樹木が立派  
に育ち、緑があふれ、植物、  
昆虫、鳥類、魚類と、多様な  
生物で、年間3百万人も来援

する都民の都民の憩いの場と  
なっている。葛西臨海公園に  
オリンピックのカヌー・スラ  
ローム施設が計画通りできると、  
葛西臨海公園の緑被率は  
63.3%から32%へ半減  
する。都立公園は、都市公園  
法や都の条例で、公園内の建  
設物は規制されており、その  
基準にもとづいて、都立公園  
の緑と生態系を守るように求  
めました。

その後、今年6月の定例都  
議会でも、舛添知事は葛西臨海  
公園のカヌー・スラローム会  
場については、隣接する下水  
道局の用地の活用を検討する  
と表明しました。